

レース公示

2026 年 iQFOiL クラス全日本選手権 兼

2026 年 iQFOiL ナショナルシリーズ第 3 戦 唐津大会

期 日 ：2026 年 10 月 16 日(金)～18 日 (日)

開催場所：佐賀県ヨットハーバー

共同主催：公益財団法人日本セーリング連盟 / 一般社団法人日本ウインドサーフィン協会
佐賀県

公 認 ：公益財団法人 日本セーリング連盟
一般社団法人 日本ウインドサーフィン協会

協 力 ：NPO 法人 SAGA SAILING / 佐賀県ヨットハーバー (SAGA MIRAI プロジェクト J V)
株式会社 KAISEI

協 賛 ：各社〈協賛依頼中〉

NOTICE OF RACE (レース公示)

1. 規則

- (1) 本大会には「セーリング競技規則 2025-2028」および付則 B (以下規則という) に定義された規則が適用される。ただし、下記で修正・追加したものは除く。
- (2) iQFOiL クラスルールにて規定されているエキップメントの使用のみが許可される。
https://d7qh6ksdplczd.cloudfront.net/sailing/wp-content/uploads/2022/03/15165338/iQF_CR_2025-04Apr-15.pdf
- (3) 各規則と矛盾がある場合は帆走指示書を優先する。

2. 広告

主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求することがある。

3. 参加資格

本大会では、コースレーシング、スプリントレースを行う。

- A) 本年度日本セーリング連盟の会員であること。
- B) 日本ウインドサーフィン協会の会員であること。
- C) U17・U19 の選手は、ウインドサーフィン協会および保護者が参加を認めている選手。
- D) 本大会に於いては、男子、女子のクラス分けのみ行い、体重別のディビジョンは設けない。

4. 参加料等及び参加申し込み方法等

- (1) 大会エントリー費用
iQ FOiL メンズ (オープン) 20,000 円
iQ FOiL メンズ (U19 クラス/U17 クラス) 15,000 円
iQ FOiL ウィメンズ (オープン) 20,000 円
iQ FOiL ウィメンズ (U19 クラス/U17 クラス) 15,000 円
*エントリー費には施設使用料も含まれています。
- (2) 参加申し込み・参加料の支払い方法
エントリーフォームをメールで締切日までに送信、併せて参加費を入金する。
〈エントリーフォーム送信先〉
株式会社 KAISEI
Mail: info[AT]kaisei-sea.jp
[AT]を@に変更して送ってください。

〈参加費振込先〉
佐賀銀行 唐津支店 普通 2752716
株式会社 KAISEI
- (3) 申込期限
2026 年 9 月 21 日 (月) から 10 月 9 日 (金) までにエントリーするものとする。
- (4) その他問合せ先
株式会社 KAISEI
Mail: info[AT]kaisei-sea.jp
[AT]を@に変更して送ってください。



JAPAN WINDSURFING ASSOCIATION



5. レーススケジュール

(1) 日程

10月16日(金)

9:00~10:30 受付、インスペクション
10:45 開会式・艇長会議
11:30 第1レーススタート時刻
レース数：1日最大4レース。

10月17日(土)

9:30 その日の最初のレーススタート時刻
レース数：1日最大5レース。

10月18日(日)

9:30 その日の最初のレーススタート時刻
レース数：1日最大3レース。
16:00 表彰式・閉会式

(2) 最終日のレース予告信号は14:30以降に発せられることはない。

6. エキップメント

(1) 事前計測は行わないが、大会期間中計測を実施する場合がある。

(2) エキップメント類は、認可製造者の製品である事(シリアル番号等)を判読できる状態にしておかねばならない。

(3) セールナンバー

A) 参加選手はセールナンバーを、付則 G、RRS77、クラスルール H に従って表記するものとし、これに違反した選手は本大会に参加することができない。大会参加後に於いても表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースを DSQ とされる。

B) ナンバーが他の選手と重複した場合は、JWA に登録されたナンバーが優先される。

7. 帆走指示書

帆走指示書は大会当日の掲示板、もしくは受付に入手できる。

8. レースエリア

レースを行う海面は B 海面、C 海面とする。

9. コース

レース当日の海面状況により決定される。

10. レース数

(1) 3日間で最大12レース予定

(2) シリーズの成立には3レースを完了することが必要である。

1 1. 賞・表彰

(1) 表彰

オープンクラス メンズ及びウイメンクラス各 1 位

U17・U19 クラス メンズ及びウイメンクラス各 1 位

ナショナルシリーズ 第 3 戦 オープンメンズ及びウイメンクラス 各 1 位から 3 位

ナショナルシリーズ 第 3 戦 U17・U19 クラスメンズ及びウイメンクラス各 1 位

(2) 全日本選手権にて最も上位の日本人選手(男子 1 名、女子 1 名)に 2027 年 3 月パルマ大会への派遣インセンティブ及び、日本人選手 上位男子 2 名 上位女子 2 名 に 2027 年 World Sailing World Championships の出場権が与えられる。当該選手が出場を希望しない場合は次点の日本人選手に繰り下がるものとし、以降同様とする。(*詳しくはオリンピック強化委員会ウェブサイト参照)

(3) 全日本選手権にて iQ FOiL メンズ (オープン)、iQ FOiL ウィメンズ (オープン) 上位 3 名を JWA 強化選手とする。

1 2. 安全規定

(1) 海上にいる間、すべての競技者は個人用浮揚用具 (ライフジャケット) とヘルメットを着用しなければならない。この項は第 4 章前文及び規則 40 を変更している。

1 3. サポートボート

(1) サポートボートは、レース初日の最初の予告信号 60 分以前に陸上本部にて登録受付をしなければならない。

(2) サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。

A) 事前に大会事務局に現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認し、その指示に従うこと。

B) 平常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。

C) サポートボートは、事前にヨットモータボート保険 (対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険) に加入していること。

D) サポートボートは大会実行委員会よりサポート艇フラッグを受け取り掲揚しなければならない。

1 4. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則 3「レースすることの決定」を参照。主催団体は、大会の前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

1 5. 承諾事項、その他

クラスルールは

https://www.iqfoilclassofficial.org/_files/ugd/297cf0_a297e9081a684b45939bf455577ad500.pdf を参照。

(1) 協会登録、セールナンバー等は JWA ホームページ <http://www.jw-a.org/> を参照。

(2) 天候コンディション等により中止となった場合でも、参加料の返還はしないものとする。

(3) 当日、気象警報などが出た場合は中止とする。

(4) 必ずスタッフの指示に従うこと。

(5) 競技に参加するための道具は各自用意すること。

(6) 自分の体力と当日の体調を確認し、各自の判断にて出場すること。

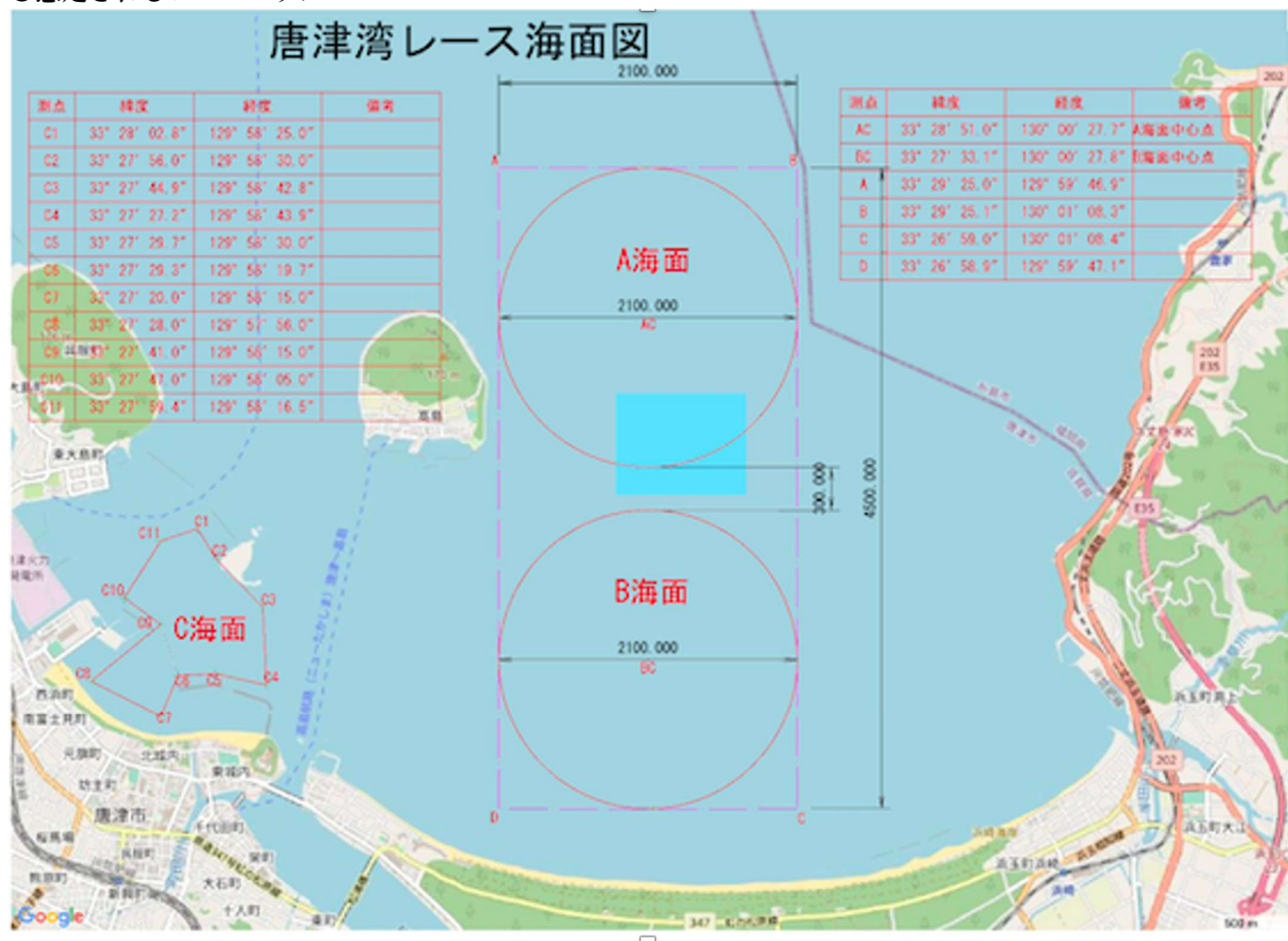
(7) 浮力体・ヘルメットを必ず各自用意をしておくこと。

- (8) 選手の氏名、所属、順位等については、各種メディア等に掲載する場合があることを参加者は承諾する。
- (9) 大会期間中の選手に関する動画、スチール写真および撮影された映像、記録、フィルムまたはその製版の制作、使用および時々の展示について、無償で主催団体に独自の判断で使用する永久的な権利を自動的に与えるものとする
- (10) ごみを投棄しないこと。

1.6. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、不安定な足場でバランスを失うこと、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

●想定されるレースエリア



2026 年 iQFOiL クラス全日本選手権 兼

2026 年 iQFOiL ナショナルシリーズ第 3 戦 唐津大会

エントリーフォーム

氏名： _____ ふりがな： _____

セイルナンバー： _____

生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 歳

性別： ☐ 男 ・ ☐ 女 血液型： _____ 型

住所： _____

緊急連絡先： _____ 続柄： _____

携帯： _____

メールアドレス： _____

所属： _____

エントリークラス： _____

エントリー費： _____ 円

以上金額を添え申します。

申込選手署名 _____

2026 年度 J S A F 登録済 ☐ <登録 NO： _____ >

2026 年度 J W A 会員登録 登録済 ☐

(該当箇所に☑を入れる)

～誓約書～

私は本大会に参加を希望し、大会開催期間中の安全に対する判断、配慮等について全て私個人が責任を持ち、私個人の生命・負傷及び、用具一切の損傷・紛失は主催、運営、協賛等の各社、各団体に何ら責任がないことに同意します。また、大会開催期間中に撮影された全ての写真・映像についての使用、転載の権限を JAPAN WINDSURFERS ASSOCIATION (日本ウインドサーファー協会) に与えることに同意します。そして、いかなる場合においても、エントリー費の返還を要求しません。私は上記の旨を理解し、ルールと大会規定に従うことを誓います。

(18 歳未満のエントリー者は保護者の署名、捺印が必要)

2026 年 _____ 月 _____ 日

氏名 _____ 印 _____

保護者名 _____ 印 _____

2026年 IQFOIL クラス全日本選手権 兼 2026年IQFOIL ナショナルシリーズ 第3戦 唐津大会

期日：2026年 10月 16日（金）～18 日（日）

開催場所：佐賀県ヨットハーバー

SAILING INSTRUCTIONS

[NP]は、この規則の違反を申し立てるボートによる抗議は無効であることを意味する。これは RRS 60.1 を変更している。

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これは RRS A5 を変更している。

1. 規則

- 1.1. 本レガッタは、セーリング競技規則(以下「RRS」という)、同付則 B に定義された規則および iQFOIL クラスルールを適用する。ただし、RRS B5 60.2(a)(1)は削除される。
- 1.2. iQFOIL クラスルール C.10.2(c)は、適用しない。
- 1.3. SI は NoR よりも優先する。これは RRS 63.5 を変更している。
- 1.4. RRS Appendix T- 調停/Arbitration が適用される。
- 1.5. 新しい RRS ルール 29.3 を、以下の通り追加する
予告信号の時点で、最初のマークへのコースが真の風から約 90 度の場合、(a) スタート信号時にレース委員会がスタートラインのコース側にボードを確認した場合、ゼネラルコールを合図する。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1. 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の予告信号予定時刻の 60 分前までに大会.org 上の大会公式掲示板に掲示される。ただし、レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに大会.org 上の大会公式掲示板に掲示される

3. コミュニケーション

- 3.1. 競技者への通告は、大会.org上に設置された公式掲示板に掲示される。また、通告以外の情報を2026年 IQFクラス全日本選手権 兼 2026年IQFOIL ナショナルシリーズのLINEオープンチャット（以下「LINEチャット」という）で知らせる。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a) を変更している。競技者は、LINEチャットへ登録が必要であり、艇長及び支援艇責任者のみが登録できる。

2026年 IQFクラス全日本選手権 兼 2026年IQFOIL ナショナルシリーズ LINEチャット

登録名は、【クラス(OPEN MEN / OPEN WOMEN / U17MEN)_セールNo.】

(例) 「OPEN MEN JPN1」_とすること。

コーチ：コーチ+苗字_ (例 コーチ + 田中)



大会.org QRコード



2026年 IQFクラス全日本選手権 兼 2026年
IQFOIL ナショナルシリーズLINEチャット

役員：苗字 _ (例)

- 3.2. 抗議、救済要求、得点照会、プロテスト委員会への質問などの手続きを行うフォームは、大会.orgの上部にある「+」ボタンを押すことでアクセスできる。
- 3.3. [DP]緊急の場合、またはレース委員会が提供する機器を用いることを除き、ボードはレース中無線送信もすべてのボードが利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。
- 3.4. 予告信号以前での通告は、レース委員会シグナルボートからの L 旗掲揚による口頭指示によりなされる。

4. [DP] 行動規範

競技者および支援者は、レガッタオフィシャルズからの合理的な要求に応じなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1. 陸上で発せられる信号は、佐賀県ヨットハーバー正面ゲートのフラッグポールに掲揚される。
- 5.2. コースレーシング、スラロームのどちらを行うかは、D 旗掲揚前に種目別フラッグ(SI Addendum A) 及びレース海面のフラッグを掲揚により指示される。なお、本大会ではマラソンは行わない。
- 5.3. [DP][NP] 音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「ボードはこの信号が発せられるまでハーバーを離れてはならない。」ことを意味する。また、予告信号はD旗掲揚後30分より前には発せられない。
- 5.4. 予告信号予定時刻の 30 分前までにD 旗が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間に定めなく延期されている。

6. 水上で発する信号

スタート・ライン又はフィニッシュ・ラインに位置するレース委員会シグナルボート、又はその他のレース委員会船にN/H 旗、AP/H 旗が掲揚された場合には、競技規則レース信号に定められたそれぞれの意味に加え、「直ちに指定されたハーバーに戻り、帰着申告を下さい」を意味する。

海上にて続けてレースを行う場合は、レース終了時に AP 旗が掲揚される。次のレースの予告信号は、AP旗降下の 1 分後とする。

7. スケジュール

7.1. レース日程

Date	Event	Time
Day 1 10 月 16 日 (金)	受付、インスペクション 開会式・艇長会議 第 1 レースの予告信号時刻 レース数：1 日最大 4 レース。	10:00-10:30 11:00 13:00
Day2 10 月 17 日 (土)	最初の予告信号時刻 レース数：1 日最大 5 レース。	9:30
Day3- 10 月 18 日 (日)	最初の予告信号時刻 レース数：1 日最大 3 レース。 表彰式・閉会式	9:30 16:00

※SI Addendum D にレース日程及びレース数詳細を示す。

- 7.2. レース数は12レースを予定している。また、1 日のレース数は最大 5 レースとする。
- 7.3. レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。また、

任意の数のレースを前倒しするためにスケジュールを変更することができる。

- 7.4. 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。
- 7.5. 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 2 分前に、音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 7.6. 各クラスの最終日は 14:00 より後に予告信号は発しない。

8. クラス旗

クラス旗は以下の通りとする。

Class	Insignia Color	Background Color
iQFOiL Man	Red "iQ" Blue "FOiL"	Yellow
iQFOiL Woman	Red "iQ" Blue "FOiL"	White
iQFOiL U17 Man	Red "iQ" Blue "FOiL"	Light Blue

9. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum B に示す。

10. コース

- 10.1. SI Addendum C の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2. コースの短縮は行わない。これは RRS 32 を変更している。
- 10.3. 帆走するコースは、予告信号以前にシグナルボードに表示される。

11. マーク

マーク、または関連したゲート・マークは、次の通りとする。

Class	Marks 1, 2, 3	Marks 4, 4s, 4p	New Mark	Starting Line Mark	Finishing Line Mark
iQFOiL Man・Woman U17 Man	緑色の円錐 台形	緑色の円錐台形	オレンジの 円錐台柱	黄色の円柱	赤色の四角錐

12. スタート

- 12.1 スタートは以下の通り行われる。

3 分前	クラス旗掲揚	短音 1 声
2 分前	U 旗または黒色旗掲揚	短音 1 声
1 分前	U 旗または黒色旗降下	長音 1 声
スタート	クラス旗降下	短音 1 声

これは RRS B3 26.1 及び 26.2 を変更している。

- 12.2 スタート・ラインは、スタート・マーク上の「オレンジ旗」を掲げたマストまたはポールと、スタート・マークとの間とする。
- 12.3 [DP] [NP]他のスタートシークエンスが進行中の場合、レース中で無い選手はスタートエリアを避けなけ

ればならない。スタートエリアとは、スタート・ラインとマークから全方向に 75mの長方形として定義される。

12.4 スタート信号の 2 分(スラロームの場合は 1 分)以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は RRS A5、A10 を変更している。

12.5 黒色旗規制に違反したボードのセールナンバーは、レース委員会船よりホワイトボードにて通告する。これは RRS30.4 を変更している。

13. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b)フィニッシュ・ラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークの間とする。

15. ペナルティ方式

RRS50.1(b)、クラス規則、大会装備規程、[DP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、大会.org 公式掲示板に掲示される。

16. タイム・リミットと目標時間

レース・タイム・リミット、フィニッシュ・ウインドウおよびターゲット・タイムを下表に示す。

Discipline	Time Limit	Finish Window	Target Time
Course Racing	23	6	16
Sprint Slalom	8	4	5

16.1 フィニッシュ・ウインドウとは、最初のボードがコースを帆走した後、ボードがフィニッシュする時間のことである。フィニッシュ・ウインドウ内にコースを帆走できなかったボードは、審問なしに「フィニッシュしなかった」(DNF)と記録される。これは、RRS 35、A 5.1、A 5.2、A 10 を変更している。

16.2 ターゲット・タイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

17. 審問の要求

17.1. 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会RRS.orgの上部にある青色「+」ボタンを押すことでアクセスできる。『審問要求書フォーム』に記入のうえ、締切時間内にオンラインで提出しなければならない。

17.2. 抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅い方から60分とし、大会.org（締切時刻の通告）に掲示する。

17.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問の予定を知らせるため、抗議締切時刻後約15分以内に通告を大会.org（審問予定）に掲示される。審問は掲示された時刻に始められる。当事者はプロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。

17.4. RRS B5 63.5(d) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。

- 17.5. [SP]印の規則の違反は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、[大会.org](https://www.daiichi.or.jp) 公式掲示板に掲示され、得点記録の略語は STP とする。レース委員会は、ペナルティーが不適切であると考えたときボードを抗議することができる。この項は RRS A5、A10 を変更している。
- 17.6. SI 18.1 に基づく得点照会に対する回答を受けた後に提出された救済要求は、次の場合、締切り時刻を満たしているものとする。
- 17.7. 得点照会が得点またはシリーズ成績の情報が入手可能となった後、常識的にできるだ早く提出され、かつ救済要求が、得点照会に対する回答が通知されたあと常識的にできるだけ早く提出された場合、回答はオンライン・システムによって通知される。この項は RRS 61.2 を変更している。

18. 得点

- 18.1. ボードは、掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、得点及び成績の訂正を要求することができる。『得点照会フォーム』は、[大会.org](https://www.daiichi.or.jp)の上部にある青色の「+」ボタンを押す事でアクセスできる。
- 18.2. 本大会は 3 レース成立する必要がある。
- 18.3. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 18.4. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.5. 8 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い 2 つの得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.6. スプリントスラロームレースは参加者が 24 名以下の場合、1 レースごとの順位で得点される。
- 18.7. RRS90.3(e)(3)が適用される。

19. [DP] [NP]安全規定

- 19.1. 出艇の際は、個人用浮揚用具（ライフジャケット等）、およびヘルメットの着用を義務付ける。なおウェイトジャケットの使用は認めない。
- 19.2. 道具や身体のトラブルにより救助を要請する場合は、頭の上で大きく手を降って運営船に合図をする事。
- 19.3. チェックアウトチェックイン
- 19.3.1 [SP] レースに参加しようとする競技者は、出艇前にレガッタオフィスにて「出艇申告書」に署名しなければならない。また、レースに参加しないボードは、その日の予告信号予定時刻の 30 分前までに「DNC/RET 申告書」に競技者若しくは支援者(代理)が署名しなければならない。
- 19.3.2 [SP] 帰着した競技者は、抗議締切り時間内にレガッタオフィスにて「帰着申告書」に署名しなければならない。
- 19.3.3 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会船にその旨を伝えること。また帰着後、速やかにレガッタオフィスにあるDNC/ RET申告書に署名しなければならない。
- 19.4 レース中でないボードは、レース中のボードから離れていなければならない。

20. [DP] 装備の修理及び交換

クラスルールにて認められている範囲以外での、損傷又は紛失による装備の修理や交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会に大会.orgの上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる『装備の交換申請フォーム』に記入のうえ、送信する事でテクニカル委員会またはレース委員会に提出し、許可を得なければならない。海上で交換要請は、最初の妥当な機会に、シグナルポートに報告し、抗議締切時間までに装備の交換申請フォームを送信しなければならない。

21. [DP] 装備と計測のチェック

ボードはレース前の計測シートを提出後、最終レース終了までの間常にクラス規則及び大会装備規程に従っていないといけない。ただし、日常のメンテナンス、テクニカル委員会による許可を受けた修理交換作業中はこの限りではない。

22. 運営船の識別

運営船の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	白旗
プロテスト委員会	黄色地に黒文字で“JURY”
テクニカル委員会	白色地に黒文字でT
レスキュー	ピンク旗
メディア	

23. [DP] 支援者船

- 23.1 支援者艇は、レース初日の最初の予告信号 60 分以前にレガッタオフィスにて登録受付をしなければならない。
- 23.2 支援者は、準備信号の時刻から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、「スタートエリア」、「艇がレースをしているエリア」の外側にいなければならない。
- 23.3 支援者艇は緑色旗の標識を付けなければならない。
- 23.4 シグナルポートに音響信号 1 声とともに「V 旗」が掲揚された場合、全ての支援艇は救助活動に従事しなければならない。この旗は、レース中であっても掲揚されることがある。これは RRS レース信号V旗及び RRS 37を変更している。
- 23.5 支援者艇は、前項の場合を除き、レース委員会艇の無線通話を傍受してはならない。

24. ゴミの処分

ごみは支援者船または委員会の船に渡してもよい。

25. 停泊

艇は、ハーバーにある間、指定された場所に保管しなければならない。

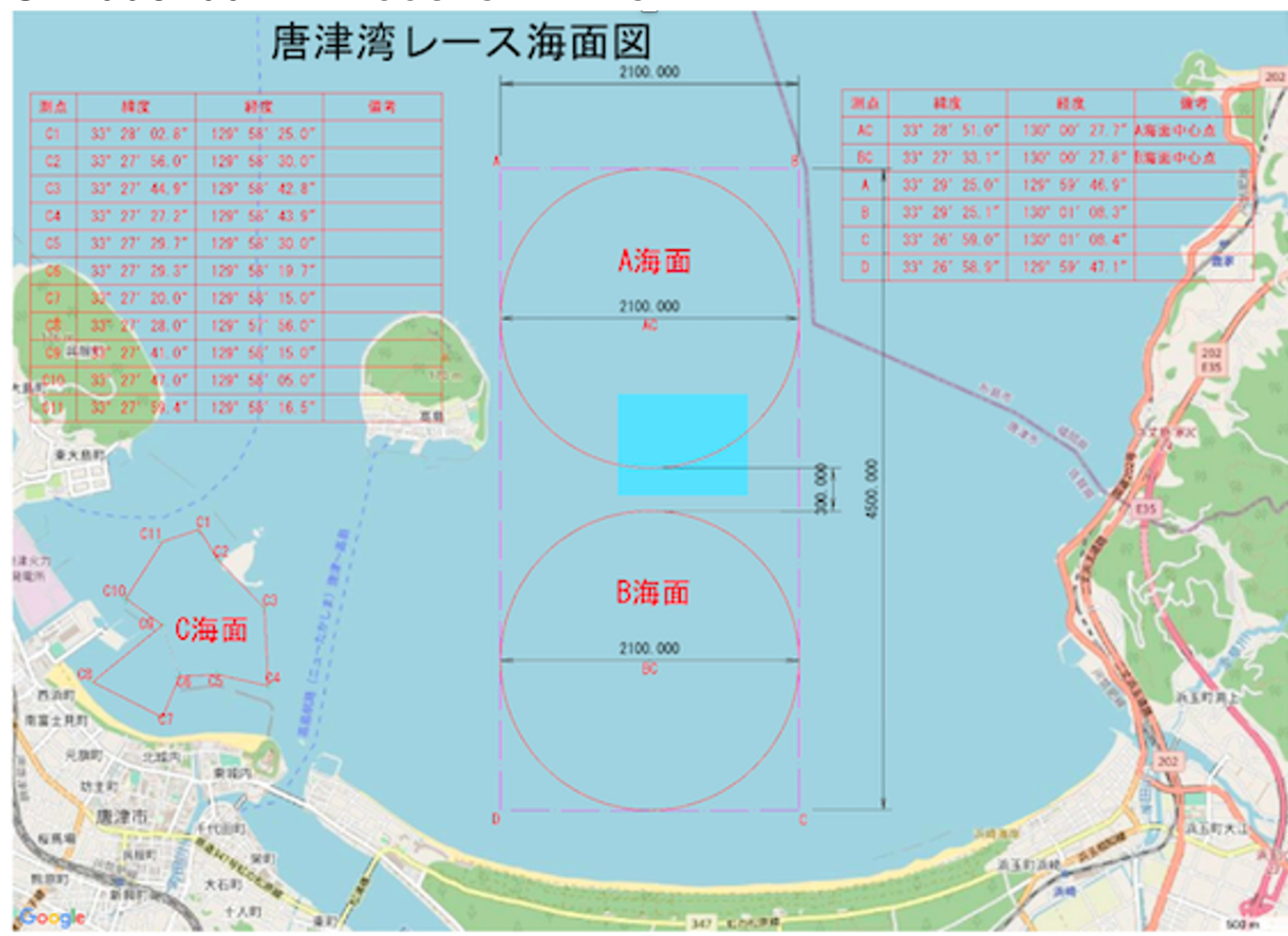
26. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他の艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

SI Addendum A EVENT FLAG

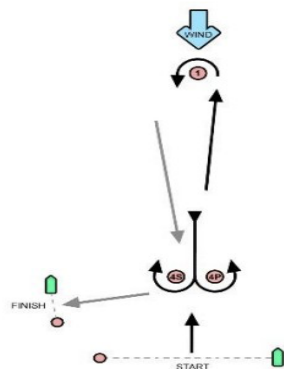


SI Addendum B COURSE AREAS

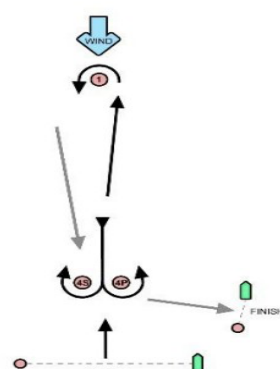


SI Addendum C COURSE ILLUSTRATION

Course racing – W/L course

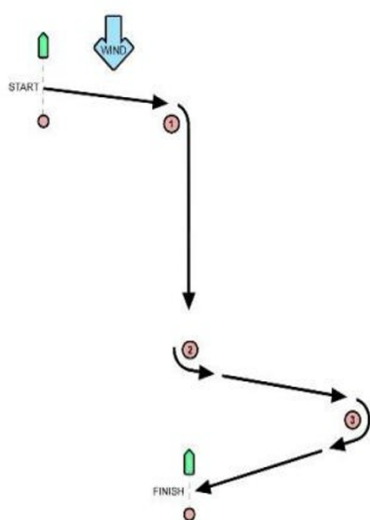


Signal	Mark rounding order
LG2	Start-1- 4S/4P-1-4S-Finish

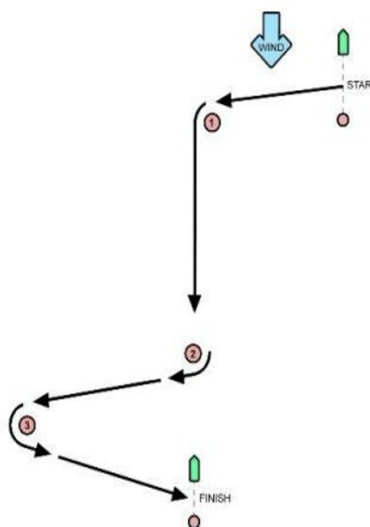


Signal	Mark rounding order
LR2	Start-1- 4S/4P-1-4P-Finish

Sprint Slalom – Downwind slalom course (MEDAL SERIES MR2)

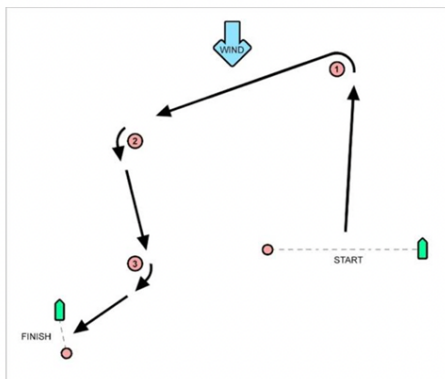


Signal	Mark rounding order
PD3	Start-1- 2-3-Finish

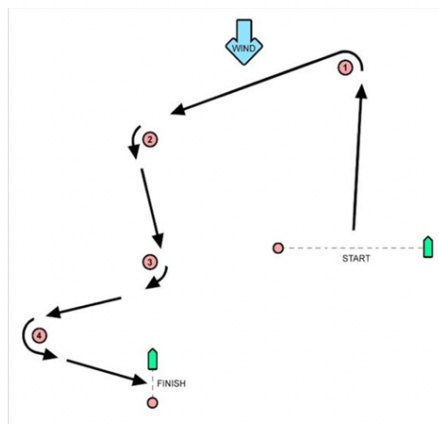


Signal	Mark rounding order
SD3	Start-1- 2-3-Finish

Sprint racing – Upwind sprint course



Signal	Mark rounding order
US3	Start-1- 2-3-Finish



Signal	Mark rounding order
US4	Start-1- 2-3-4-Finish

